

公開模擬試験の出題テーマ

第1問	仕訳問題 1. 備品および消耗品の購入 2. 商品の売上げ（発送費あり） 3. 手形借入れ 4. 雇用保険料（社会保険料の1つ）の納付 5. 小口現金の使用報告とそれに基づく補給（小口現金勘定を経由させない方法） 6. 現金過不足の発生（現金が帳簿残高に比して過剰であったケース） 7. 電子記録債権の回収 8. 法人税の中間納付 9. 商品の仕入れ 10. ICカードの使用（チャージ額を仮払金として処理する方法） 11. 支払手形の決済 12. 給料の支払いなど 13. クレジット売掛金の回収（販売時に手数料を認識する方法） 14. 売掛金の貸倒れ 15. 剰余金の配当
第2問	(1) 語句の穴埋め (2) 残高試算表
第3問	貸借対照表・損益計算書 1. 商品の売上げ（未処理事項） 2. 現金過不足 3. 当座借越 4. 買掛金の電子記録（訂正仕訳） 5. 貸倒引当金の設定 6. 売上原価の算定 7. 有形固定資産の減価償却 8. 支払家賃に係る前払分 9. 広告宣伝費（未処理事項） 10. 貯蔵品の棚卸 11. 消費税に係る決算整理 12. 法人税、住民税及び事業税の計上

第1問

※ 勘定科目は、紙の試験（統一試験、団体試験）では記号で解答し、ネット試験ではプルダウンから選んで解答します。

1. 備品および消耗品の購入

(借) 備	品(ウ)	930,000	(貸) 当	座	預	金(オ)	1,028,500
	消	耗	品	費(イ)			5,000
	仮	払	消	費	税(エ)		93,500

2. 商品の売上げ（発送費あり）

(借) 当	座	預	金(オ)	70,000	(貸) 売		上(イ)	273,000
	売	掛	金(エ)	203,000				
(借) 発	送	費(ウ)		3,000	(貸) 現		金(カ)	3,000

※ 次のような相手先の異なる2つの取引を行っているものとみることができる。

- ・ 対販売先 → 運賃相当額を含め当社が受け取ることのできる金額による取引
- ・ 対運送会社 → 費用（発送費）を発生させる取引

3. 手形借入れ

(借) 普	通	預	金(オ)	600,000	(貸) 手	形	借	入	金(ウ)	608,640
	支	払	利	息(エ)						8,640

4. 雇用保険料（社会保険料の1つ）の納付

(借) 社会保険料預り金(ウ)	36,000	(貸) 普通預金(イ)	432,000
従業員立替金(ア)	108,000		
法定福利費(オ)	288,000		

5. 小口現金の使用報告とそれに基づく補給（小口現金勘定を経由させない方法）

(借) 旅費交通費(ウ)	7,800	(貸) 現金(エ)	25,200
租税公課(ア)	3,000		
通信費(イ)	2,400		
雑費(オ)	12,000		

6. 現金過不足の発生（現金が帳簿残高に比して過剰であったケース）

(借) 現金(ア)	15,000	(貸) 現金過不足(オ)	15,000
-----------	--------	--------------	--------

7. 電子記録債権の回収

(借) 普通預金(オ)	1,200,000	(貸) 電子記録債権(エ)	1,200,000
-------------	-----------	---------------	-----------

8. 法人税の中間納付

(借) 仮払法人税等(カ)	330,000	(貸) 普通預金(オ)	330,000
---------------	---------	-------------	---------

9. 商品の仕入れ

(借) 仕入(イ)	323,000	(貸) 前払金(オ)	60,000
仮払消費税(カ)	32,100	支払手形(エ)	293,100
		現金(ア)	2,000

10. ICカードの使用（チャージ額を仮払金として処理する方法）

(借) 旅費交通費(エ)	9,000	(貸) 仮払金(ウ)	12,000
雑費(カ)	3,000		

11. 支払手形の決済

(借) 支払手形(オ)	894,000	(貸) 当座預金(ウ)	894,000
-------------	---------	-------------	---------

12. 給料の支払いなど

(借) 給料(エ)	990,000	(貸) 所得税預り金(オ)	69,000
未払金(ウ)	60,000	社会保険料預り金(カ)	72,000
		普通預金(ア)	909,000

13. クレジット売掛金の回収（販売時に手数料を認識する方法）

(1) 商品販売時の会計処理

(借) 支払手数料	72,000	(貸) 売上	2,400,000
クレジット売掛金	2,328,000		

(2) 代金回収時の会計処理 ← 解答となる仕訳

(借) 普通預金(ア)	2,328,000	(貸) クレジット売掛金(イ)	2,328,000
-------------	-----------	-----------------	-----------

14. 売掛金の貸倒れ

(借) 貸倒損失(カ)	60,000	(貸) 売掛金(ア)	300,000
貸倒引当金(ウ)	240,000		

※ 当期発生の金銭債権が貸し倒れた場合：全額を貸倒損失として計上する（貸倒引当金があっても充当しない）。
 前期以前に発生の金銭債権が貸し倒れた場合：まず貸倒引当金を充当し、不足分は貸倒損失として計上する。

15. 剰余金の配当

(借) 繰越利益剰余金(オ)	1,485,000	(貸) 未払配当金(イ)	1,350,000
		利益準備金(エ)	135,000